

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろキッズついじ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生きる力の育成と子どもの育ちの充実を図るために多様な遊びや集団活動・地域交流等を大切にイベントを実施しています。	・土曜日や長期休業日には、昼食やデザートの調理、プール遊び、体育館での運動、電車でのお出かけ、施設や公園へのお出かけ等、楽しいイベントを計画しています。 ・法人内の放課後等デイサービス（3事業所）で、野菜作りや施設見学、体育指導員による体操教室、地域のイベントの参加等を共有し、交流を広げています。 ・読み聞かせや昔語りの体験活動、地域にある高等学校や大学の見学などを通して地域の方々と触れ合う機会を設定しています。	・地域のイベントへの参加やボランティア活動等、地域との交流を大切にし、積極的に参加していきます。 ・職員の専門性を生かして、内容を充実させていくようにします。
2	保護者様とのコミュニケーションを大切に、学校や児童支援事業所等との連携をとって、丁寧な対応を心がけています。	・年1回の保護者会（講演会）を開催し、保護者様同志の交流が深められる機会を設けています。 ・保護者様からの相談には、面談や電話等で丁寧に対応し、必要に応じて学校や専門機関と連携して情報共有しています。	・保護者様のご要望に応えられるよう、今後も保護者会を開催していきます。 ・お子さまと保護者様が一緒に参加できるイベントの開催等、新しい試みも積極的に計画していきます。
3	お子さまや保護者様の思いや願いをお聴きしながら、お子さんに寄り添った学習支援に努めています。	・毎日の宿題をする「学習タイム」を設け、専門性が高い職員による個別の学習支援を行っています。 ・必要に応じて個に合った学習プリントを提供しています。 ・長期休みには、個々の学習計画を作成し、それに沿って事業所や家庭で学習をしています。	・学級担任と連絡を密にし、今後も子どもに寄り添った学習支援の充実を図っていきます。 ・個に応じて少しずつ出来ることを増やし、自信をもてるよう働きかけていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・お子さまが活動するスペースとしては施設として十分とはいえない、とのご意見を多くいただきました。	・活動室の広さは基準値内ですが、お子さんの年齢が上がるにつれてより狭さを感じているのが現状です。施設上の課題ですので、コンテナハウスの有効活用等、現在できる範囲での対策を講じていく必要があります。	・室内スペースに課題はみられますが、衝立を使って学習と遊びの場を仕切ったり学習が終わるまでは読書やカードゲーム、レゴブロックなどで静かに過ごすなどのルール作りや守れたかどうかの振り返りの時間を取るなどの対策を日々行っております。 ・長期休業や土曜日は、野外や外部施設にお出かけしたり体操教室や昔語りなどの体験をしたり等活動の充実を図るとともに、室内を有効に使えるように整理整頓に心がけていきます。 ・コンテナハウスの有効活用について検討していきます。
2			
3			